

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立額小学校] 担当教諭名[松原 乃里子] (6年2組 30名)

交流相手国[中国]

海外学校名[Jinhua Binhong Primary School] 担当教諭名[Zhao Xia, Sally, Annie]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	金沢から世界の発展を考える	30
	国語	この絵私はこう見る	2

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	文化(お祭り)
絵に込めたメッセージ	日本の古都・金沢には、いにしえから脈々と受け継がれる文化がある。そんな金沢にも北陸新幹線が開通し、新しい文化が生まれている。そして日本には各地にすばらしい文化の結晶であるお祭りがある。日本人の心の中にはお祭りへの憧憬が受け継がれている。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・自国の文化の理解につながった。 ・相手の国の文化や生活を知ることが出来た。 ・これからの世界で英語が必要なことがわかった。 ・情報収集の機器として、パソコンの利用が更に出来るようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の情報統制によってスカイプが使えないため、子ども同士が言葉を交わしあう直接交流が達成できず、満足のいく交流とはならなかった。 ・中国ではyou-tubeが使えず、動画での交流が出来なかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・世界には日本と全然違う文化や暮らしがあって、それぞれの良さがある事に気づいた。 ・中国はあまりいい国ではないと思っていたけれど、子ども達は明るく元気で自分達と同じように優しいんだという認識を持った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回4回目のアートマイルの取り組みだった。国によって取り組みの様子や交流の仕方が全く違うことをあらためて実感した。中国は同じ漢字を使う同胞の国であるということ、一般庶民はひたむきに一生懸命生きているという印象を持った。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	30人を6つのグループに分けて自己紹介のプレゼンを作った。名前、好きなもの、得意なことなどをフォーラムで伝えた。学校のいろいろな場所の写真を撮り、英文で紹介した。	相手校から紹介があり、思っていた以上に立派な施設が整っている学校にとっても驚いた。科学博物館があったり、チアリーダーが金華市で活躍するなど文化都市である事に感心していた。	総合4
テーマ学習	10月	日本のお祭りを6つ調べた。有名な祇園祭りや地元の蓬萊祭などを調べてプレゼンを作り you-tube で送った。ところが情報統制がある事がわかり、バラバラ紙芝居に作り直した。	中国のドラゴンボート祭りや春節などの紹介があった。華やかなお祭りの様子や緑色の食べ物や子ども達の遊びの様子から、お隣の国なのに全然文化が違うことを実感していた。	総合10
構図決定	11月	6つのグループでそれぞれに mural の構図案を作り、相手に提示した。どのお祭りを採用するのか、日本の文化は何を紹介するのか考え、説明と画像をフォーラムにアップした。	6案の中から、ねぶた祭りなどの3つのお祭り、北陸新幹線や金沢城、21世紀美術館などの金沢の風景が描かれた案が良いと相手校から連絡があった。案が決まって児童は喜んだ。	総合6
壁画制作	12月	30人でテントをぐるりと取り囲んで絵を描き始めた。狭い場所を譲り合って、協力して絵を塗り上げた。金沢駅の鼓門、起き上がり小法師などがきれいに描かれた仕上がりになった。	相手校からは呉(ウ)オペラの仮面や春節の竜舞、七夕の織り姫、干支の猿などが描かれたテントアートが戻ってきた。手作りのおみやげや書画、手紙も入っていて児童はとても喜んだ。	総合10
鑑賞・振り返り	2月	国語の単元「この絵私はこう見る」で何が描かれているのか考えた。日本と似ているお祭りや文化もあれば、全く違う所もあることがわかった。	中国の様子に触れて喜んでいて。あまり良い印象を抱いていなかった中国だが、子ども達は自分達と同じで明るく元気で優しいことを感じていた。	国語2

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	日本のお祭りを調べパワーポイントでプレゼンを作ったところ、濃い内容で数ページに渡るきれいなものを作ることが出来たから。
異文化の理解	A	5	たくさんのお祭りや文化の情報がフォーラムで伝えられた。書画など日本とよく似た事もあれば珍しい事柄もあるとわかったから。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	4	PC の翻訳機能で英文に訳し、それを更に日本語に翻訳する事で、英文の正確さを増すという技を使うようになったから。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	5	自分達で決めたところをデジカメで写真撮影して送信したり、いろいろな動画を撮ってロイロノートで編集したりしていたから。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	3	もともと仲の良い学級で協同学習の意識は最初から高く、学習前と後に行ったアンケートでも結果がほとんど同じだったから。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	30人で一つのテントを囲んで彩色しても、けんかも小競り合いも起こらず、仲良く譲り合って完成することが出来たから。
学習を追究する意欲	A	4	調べ活動や下書き案を作る際にも本番の彩色でも粘り強く活動し、自分達が出来た範囲で一番良いものを追究していたから。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	4	精密で丁寧な絵を描いたグループは満足度が高かったが、グループによっては思っていた程度には仕上がらなかったから。
作品を鑑賞する力	A	5	一人一人が中国から送られた画像と見比べて、絵には何が表現されているのか考えて鑑賞することができたから。

